

特記仕様書

第1条 適用

受注者は、岐阜県建設工事共通仕様書によるほか、この特記仕様書に基づき施工するものとする。
この設計書の設計積算基準は、令和7年度版土木工事標準積算基準書等を適用している。

第2条 工事着手前協議について

受注者は、工事開始日以降1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行わなければならない。
協議に当たっては、「施工打ち合わせ記録簿」（第3号-2様式）に協議事項を記入し、打ち合わせに持参すること。
監督員は「施工打ち合わせ記録簿」の回答（その他）欄を記入し、受注者にその回答を通知すること。

第3条 地下埋設物の確認について

地下埋設物の近接工事における事故防止は、「地下埋設物の事故防止マニュアル」（令和2年10月 中部地方整備局）に基づき対応すること。

第4条 1日未満で完了する作業の積算について

「1日未満で完了する作業の積算」（以下、「1日未満積算基準」と言う。）は、変更積算のみに適用する。
受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について協議の発議を行うことができる。
受注者は、協議に当って、1日未満積算基準に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料（日報、実際の費用がわかる資料等）を監督員に提出すること。

第5条 電子メールを活用した情報共有について

本工事の施工中における受発注者間の情報共有は「電子メールを活用した情報共有における運用指針」により実施すること。
ただし、これにより難しい場合は、工事着手前協議時に監督員と協議のうえ決定すること。

第6条 電子納品の実施について

受注者は、工事完成写真を電子成果品として提出する際は、第2条 工事着手前協議に基づき提出できる。
受注者は、電子成果品を「岐阜県建設工事共通仕様書」、「工事完成図書」の電子納品要領」、「岐阜県電子納品運用ガイドライン」等を準用し、これに基づき作成し、電子媒体で納品すること。
「要領」「ガイドライン」等で記載のなき事項及び質疑が生じた場合は、監督員と協議すること。

第7条 デジタル工事写真の小黑板情報電子化について

デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事とすることができる。
運用は、写真管理基準「2-8デジタル工事写真の小黑板情報電子化について」に基づき実施すること。

第8条 下請契約及び使用資材について

受注者は、下請負人を選定するときは、「高山市公契約条例」（平成30年4月1日 以下「公契約条例」という。）に基づき、県内に事務所又は事業所を有する者を活用するよう努めなければならない。
また、調達する工事材料は岐阜県産とするよう努めなければならない。

第9条 下請負人との契約について

受注者は、「建設業法」（昭和24年法律第100号）、「下請代金支払遅延等防止法」（昭和31年法律第120号）、「公契約条例」及びその他関係法令を遵守するとともに、労務費その他の経費の内訳を明らかにした見積りを基に、下請負人との対等な立場における合意に基づいた公正な契約を締結するよう努めなければならない。

第10条 創意工夫・社会性等の実施報告について

受注者は、工事施工において、自ら立案した創意工夫・社会性等に関する項目について、具体的な内容と実施方法をあらかじめ施工計画書に記述するとともに、実施した創意工夫・社会性等に関する項目の実施状況を工事完了時までに「創意工夫に関する実施報告書」（工評定様式6号）または「社会性（地域への貢献等）に関する実施報告書」（工評定様式7号）に記載し、監督員に提出することができる。

第11条 産業廃棄物の適正処理について

受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、「高山市建設工事における建設副産物管理の運用について」に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認し、監督員に報告しなければならない。

第12条 不当介入における通報義務について

- 1 妨害又は不当要求に対する通報義務
受注者は、契約の履行に当たって、暴力団関係者等から事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報をしなければならない。
なお、通報がない場合は入札参加資格を停止をすることがある。
- 2 履行期間の延長について
受注者は、暴力団等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に業務を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長を請求することができる。

第13条 工事請負契約における設計変更ガイドラインについて

受注者は「高山市工事請負契約における設計変更ガイドライン」に基づき照査を実施すること。

特記仕様書

第14条 工事書類の作成について

工事施工に伴い、受注者が作成、提出、保存等する書類とその取扱いについては「工事書類作成提出要領」に基づき実施すること。

第15条 一般的制限値を超える車両の運行について

岐阜県建設工事共通仕様書 1-1-36交通安全管理第13項における道路法47条の2に基づく通行許可の確認において、受注者は関係資料を整理保管するとともに、監督員または検査員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。
特殊車両通行の確認は、「公共工事における大型車の通行適正化に向けた取り組みについて（通知）」（平成29年12月25日付け技第622号）によるものとする。

第16条 法定外の労災保険の付保

受注者は、法定外の労災保険に付さなければならない。

第17条 行政情報流出防止対策の強化

- 1 受注者は、本工事の履行に関する全ての行政情報（個人情報を含む）について適切な流出防止対策をとるものとする。
- 2 受注者は、本工事で行政情報を取り扱う場合には、行政情報流出防止対策の基本的事項を遵守しなければならない。
（関係法令等の遵守）
行政情報の取り扱いについては、関係法令を遵守するほか、本規定及び発注者の指示する事項を遵守するものとする。
（行政情報の目的外使用の禁止）
受注者は、発注者の許可無く本工事の履行に関して取り扱う行政情報を本工事の目的以外に使用してはならない。
（社員等に対する指導）
受注者は、受注者の社員等に対し行政情報の流出防止対策について、周知徹底を図るものとする。
（契約終了時等における行政情報の返却）
受注者は、本工事の履行に関し発注者から提供を受けた行政情報（発注者の許可を得て複製した行政情報を含む。以下同じ。）については、本工事の実施完了後または本工事の実施途中において発注者から返還を求められた場合、速やかに直接発注者に返却するものとする。
（行政情報の管理体制の確保）
受注者は、行政情報を適正に管理する体制を確保しなければならない。
（行政情報の電子的な取り扱い）
受注者は、本工事の実施に際し、行政情報の電子的な取り扱いをしてはならない。
（事故の発生時の措置）
 - 1）受注者は、本工事の履行に関して取り扱う行政情報について何らかの事由により情報流出事故にあった場合には、速やかに発注者に届け出るものとする。
 - 2）この場合において、速やかに、事故の原因を明確にし、セキュリティ上の補完措置をとり、事故の再発防止の措置を講ずるものとする。
- 3 発注者は、受注者の行政情報の管理体制等について、必要に応じ、報告を求め、検査確認を行う場合がある。

第18条 一斉休工の取組について（県発注工事：令和4年7月～ 市町村発注工事：令和4年10月～）

- （災害対応等緊急性の高い工事及び工程上やむを得ない工事を除く）
- 1 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、「公共工事における一斉休工（略称：まんなかホリデー）」に取組む対象工事である。なお、本取組は強制的な休工や工程の調整を求めるものではない。
 - 2 対象工事は、工事着手日～工事の終期（契約工期末）までの期間において、毎月第2土曜日の休工に積極的に取組むものとする。なお、一斉休工の実施日が変更となった場合は、別途、監督員より協議する。
 - 3 一斉休工の実施状況について、発注者より確認やアンケートを求められた場合は、受注者はこれに協力するものとする。

第19条 週休2日制工事の実施

本工事は、完全週休2日を原則とした週休2日制工事（現場閉所）です。詳細は「高山市発注の建設工事に係る週休2日制工事実施要領」を参照してください。

特記仕様書（条件明示）

下記項目、事項のうち○印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約が生じたときは、甲（市）と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目		明示事項		制約条件等		チェック欄	
						係長	担当
工程関係	○	関連工事	○ 関連する他の工事の工期（施工予定時期）	①R8.2～R8.12 第1松倉踏切歩道設置工事 ②R7.12～R8.12 踏切近接部道路改良工事 ③R7.10～R8.12 通行止め周知看板、仮設ヤード柵設置委託			
			○ 関連する他の工事の内容	①JR踏切工事 ②踏切近接部工事 ③周知看板、ヤード柵の設置撤去			
	○	施工の制限	施工内容	関連工事により施工が制限されるため調整の上施工			
			○ 施工時期	本工事施工箇所の一部（ゲートフェンスの踏切側）は①②工事の作業ヤードとしても使用されるため、①②工事と工程や施工方法を調整して工事を行うこと。なお、ゲートフェンスの踏切側については、JRとの工程調整により発注時においては11月頃の施工予定である。 また、本工事施工箇所は①②工事箇所への進入路でもあることから、基本、片側通行を確保した施工方法とすること。詳細は①②工事と調整して施工すること。 工業高校敷地を①②工事の施工ヤードとして借地しており、一部本工事の施工のためにも使用が必要なことから①②工事と調整して施工すること。			
			○ 施工時間	①②工事と調整して実施			
			○ 施工方法	①②工事と調整して実施			
			工事の抑制期間（交通規制）				
		対外協議未了事項	未了協議の内容				
			制約を受ける内容				
			協議成立の見込み時期				
		協議条件	協議で付された特定条件の項目				
			協議で付された特定条件の影響範囲				
		余裕工期設定工事	工事の着手時期				
	○	事前調査	○ 地下埋設物・埋蔵文化財等の事前調査	調査し報告すること			
			○ 項目	地下埋設物、架空線			
			○ 調査期間	工事着手前			
			埋設物等の移設予定時期（見込み時期）				
		休日日数	休日日数				
			作業不可能見込み日数				
用地関係		工事用地の未買収（未処理）	場所				
			範囲				
			処理の見込み時期				
			未買収地への立入り可否				
	○	工事用地の復旧	○ 工事用地等の使用後の復旧内容	原形復旧			
	○	工事用地の借地	○ 工事用仮設道路及び資機材置場の借地	高山市千島町地内			
			○ 場所	A工業高校敷地、B付近田を①②工事のヤードとして借地済み			
			○ 範囲				
			○ 期間	R8.3～R8.12			
			○ 使用条件	①②工事の施工ヤードとして使用するため、本工事においては使用制限があるが、使用出来る場合は①②工事と調整して使用すること。			
			○ 復旧方法	原形復旧			
			○ 工事に必要な土地の借地料	A、Bについては不要。その他借地が必要な場合は請負者が負担。			
		仮設ヤード（消波根固めブロック、桁製作等）	施工者に使用させる仮設ヤード				
			場所				
			範囲				
			期間				
			使用条件				
			復旧方法				
公害関係 （環境対策）	○	工事に伴う公害防止対策	公害防止（騒音、振動、粉塵排出ガス等）のための指定事項				
			施工方法				
			○ 建設機械・設備	低騒音型、排出ガス対策型建設機械の使用			
			作業時間等の指定				
		水替・流入防止施設	防止施設の内容				
			設置期間				
		濁水・湧水処理対策	処理施設の内容				
			処理条件の内容				
			事前・事後調査の区分				
			調査時期				
			調査方法				
		事業損失	調査範囲				
			調査項目				
		六価クロム溶出試験	○ 対象工種・工法				
			○ 試験実施段階・検体数				

施工条件

明示項目		明示事項		制約条件等	チェック欄	
					係長	担当
安全対策関係	交通安全施設等	○	○ 指定の内容	工事に伴う通行止めの周知看板を別途設置しており（関連工事②③にて）、これを補完する看板を検討し追加設置すること。周辺の店舗等への配慮看板とともに通行止めであることがわかる看板を検討し追加すること。本工事により設置済みの看板を撤去や移設する必要がある場合は、新たに周知看板の配置計画を行い、監督員の承諾を得て設置すること。 また、必要に応じ、看板を照らす仮設照明等を設置すること。		
		○	○ 指定の期間	工期内		
	近接施工	○	○ 鉄道、ガス、電気、電話、水道情報管路等との近接施工	①工事（JR） ②工事（市発注） ③委託（市発注）		
		○	○ 施工方法	①②工事と調整して実施		
		○	○ 作業時間	①②工事と調整して実施		
	防護施設	○	○ 防護施設の内容	路切近接部の柵については③委託で設置済み。その他は請負者の責任範囲とし、事故・災害等がおきないものを設置する。工事に伴い設置済みの柵を撤去や移設する必要がある場合は、新たに柵の配置計画を行い、監督員の承諾を得て設置すること。		
	交通誘導員等	○	○ 交通誘導員、保安要員の配置指定	通行止め箇所の車及び歩行者の誘導を行うため、必要な個所に配置すること。		
		○	○ 場所	施工区間内		
		○	○ 期間	施工期間内		
		○	○ 時間	施工時		
		○	○ （配置）人数	交通誘導員：58人（昼間）		
		○	○ 交替要員の有無			
		○	○ 発破作業等の保全設備			
		○	○ 発破作業等の制限内容			
	換気設備等	○	○ 換気設備等の対策内容			
工事用道路関係	一般道路の使用	○	○ 資機材搬入経路			
		○	○ 資機材搬出経路			
		○	○ 使用期間			
		○	○ 時間帯			
		○	○ 使用中・使用後の処置内容			
	仮設道路の設置	○	○ 安全施設等の設置内容			
		○	○ 安全施設等の設置期間			
		○	○ 工事終了後の存置方法			
		○	○ 工事終了後の撤去方法			
		○	○ 維持補修の内容			
仮設備関係	仮設物の引き渡し・引継	○	○ 仮設物の引き渡し・引継の内容			
		○	○ 仮設物の引き渡し・引継の期間、時期			
		○	○ 仮設物の引き渡し・引継の条件			
	仮設備の構造	○	○ 仮設備の構造			
		○	○ 仮設備の施工方法			
		○	○ 仮設備の設計条件			

施工条件

明示項目		明示事項	制約条件等	チェック欄	
				係長	担当
建設副産物関係	建設発生土（受入）	残土受入場所又は仮置場所			
		位置			
		処理量			
		運搬距離・経路			
		搬入時間制限			
		処理・保管条件			
	○ 建設発生土（搬出）	○ 残土受入場所又は仮置場所	残土受け入れ地		
		○ 位置	前原町		
		○ 処理量			
		○ 運搬距離・経路	L=8.2km		
		○ 搬入時間制限			
		○ 処理・保管条件			
	建設発生土（搬出）	残土受入場所又は仮置場所			
		位置			
		処理量			
		運搬距離・経路			
		搬入時間制限			
		処理・保管条件			
	現場内の再利用・減量化	再利用・減量化の内容			
		使用場所（現場内等）			
	○ 建設副産物及び廃棄物の処理 アスファルト コンクリート	○ 処理方法	中間処理業者へ搬入		
		○ 受入施設名	㈱カンチ 飛騨リサイクルセンター		
		○ 処理場所	高山市松之木町		
		受入時間			
		受入条件			
		○ 運搬距離	L=6.1km		
	建設副産物及び廃棄物の処理	処理方法			
		受入施設名			
		処理場所			
		受入時間			
		受入条件			
		運搬距離			
	建設副産物及び廃棄物の処理	処理方法			
		受入施設名			
		処理場所			
		受入時間			
		受入条件			
		運搬距離			
工事支障物件等	○ 占有物件等の工事支障物件の存在	○ 占有物件の有無	NTT管、上下水道管		
		○ 工事支障物件	調査し報告すること		
		支障物件			
		管理者（所有者）			
		支障物件の位置			
		支障物件移設時期			
		支障物件工事方法			
		支障物件防護方法			
	占有工事との重複	重複する占有物件工事の内容			
		重複する占有物件工事の期間			
薬液注入関係	設計・施工条件	設計条件			
		工法区分			
		材料種類			
		施工範囲			
		削孔数量			
		削孔延長			
		注入量			
		注入圧			
	周辺環境調査	環境調査の内容			

施工条件

[illegible]